

表5 - 8(2) 事業による影響が想定される環境要素と類型区分との関係及び調査・予測の留意点等（埋立、干拓）

影響要因と環境要素		埋立、干拓										
		工事の実施				土地又は工作物の存在						
調査・予測の留意点等	水中照度		濁り・堆積物	騒音・振動	環境への負荷	水質	波浪	流動	干出時間	地形・基質	砂の移動（漂砂）	
	想定される主な影響	【濁りの発生】 ・水中照度の低下による海草藻類の変化、基礎生産量の変化 ・堆積物の増加による底質の変化 ・基礎生産量及び底質の変化による水質の変化 【騒音の発生】 ・鳥類・魚類等の忌避				【海岸形状の変化】 ・波浪の変化による漂砂変化 ・流動の変化による水質の変化 ・潮汐・干出時間の変化による生物生息空間の減少 ・漂砂及び水質の変化による底質の変化 【海域空間の減少】 ・生息空間の減少による個体群の減少 ・個体群の減少による生態系機能の減少および基礎生産量の変化 【海底基盤の変化】 ・付着基盤の変化による生態系機能の変化						
類型による特徴	【濁りの発生】 ・水中照度の低下は主に 海草藻場、サンゴ礁の類型 に影響する				【海岸形状の変化】 ・潮汐・干出時間の変化は、海水域及び汽水域を通じて主に 潮間帯の類型 に影響する ・漂砂の変化は、潮間帯、潮下帯を通じて主に 砂浜、砂泥底域、干潟、海草藻場、マングローブ林、ヨシ原、貝床の類型 に影響する 【海域空間の減少】 ・個体群の減少により影響を受ける生態系機能は類型により異なる(別表参照) 【海底基盤の変化】 ・付着基盤の変化により影響を受ける生態系機能は類型により異なる(別表参照)							
調査・予測の留意点	主な把握事項	【濁りの発生】 ・海草藻類とそこに生息する生物の生育・生息状況 ・対象海域の濁りの分布、変動状況 ・工事による濁りの発生状況 【騒音の発生】 ・鳥類の飛来地・生息地の状況 ・工事による騒音の発生状況				【海岸形状の変化】 ・対象海域の流動、波浪、水質、底質及び漂砂の状況 【海域空間の減少】 ・生物の生息状況及び生息基盤等生息環境の状況 ・生態系の構造と機能の特性 ・埋立による改変区域 【海底基盤の変化】 ・対象海域の付着基盤及び付着生物の状況 ・新たに形成される付着基盤の規模、性状等						
	留意点等	【濁りの発生】 ・バックグラウンドの濁りの状況により、影響の度合いが異なる。 ・工事により発生する濁りの性状、発生位置、発生期間等により影響の度合いが異なる。 【騒音の発生】 ・鳥類や魚類の種類により音に対する行動等が異なる。 ・工事により発生する騒音の程度、発生位置、発生期間等により影響の度合いが異なる。				【海岸形状の変化】 ・漂砂の変化のタイムスケールは、一般に流動、水質等に比べてはるかに長いことを考慮する必要がある。 【海域空間の減少・海底基盤の変化】 ・生態系の機能に及ぼす影響については、類型に応じて重要と考えられる機能(別表参照)を選定し、調査・予測を行う。選定に当たっては、人為的影響で損なわれることにより、生態系の健全性に影響を与える機能、物質循環の機能、生物学的機能にあっては、その機能を担う生物種(群集)に関する評価が可能であること、に留意する。						